

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月1日

上場会社名 **株式会社 ゼンショーホールディングス** 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <http://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経本部長 (氏名) 杉園 大貴 (TEL) 03 (6833) 1600
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	308,269	3.8	11,976	△30.1	11,068	△29.5	5,721	11.7
24年3月期第3四半期	297,116	6.4	17,140	39.6	15,706	46.8	5,122	45.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 6,913百万円 (23.0%) 24年3月期第3四半期 5,620百万円 (188.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	47	25	—	—
24年3月期第3四半期	42	31	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
25年3月期第3四半期	258,692		54,926		16.5		351	61
24年3月期	235,981		49,066		16.2		316	59

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 42,572百万円 24年3月期 38,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
24年3月期	—	—	8	00	—	—	8	00	16	00
25年3月期	—	—	8	00	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	8	00	16	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	410,440	1.9	18,412	△12.3	16,560	△14.2	6,695	118.2	55	29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社マルヤ 除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	121,100,000株	24年3月期	121,100,000株
25年3月期3Q	23,395株	24年3月期	23,395株
25年3月期3Q	121,076,669株	24年3月期3Q	121,076,711株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(2012年4月1日から2012年12月31日)におけるわが国経済は、一時は緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、先行き不透明な状況が続きました。外食産業におきましては、雇用・所得環境の先行き不安等により個人消費が低調に推移する中、原材料価格は依然として高値圏で推移しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、コア事業であります牛丼カテゴリーの「すき家」は、既存店売上高を中長期的に高い水準で維持(当第3四半期累計期間の既存店売上高は2003年比で116.4%、2009年比で113.3%)しておりますが、前年比較においては東日本大震災からの早期復旧による増収の反動で、当第3四半期累計期間の既存店売上高は、93.1%となりました。加えて、米・肉価格をはじめとする食材価格の上昇や防犯強化のための深夜時間の複数人体制による人件費の増加などが主要因となり前年対比減益となっております。また、レストランカテゴリーの「ココス」・「ビッグボーイ」・「ジョリーパスタ」ならびに、出店を進めているファストフードカテゴリーの「はま寿司」の既存店売上高は、概ね堅調に推移しております。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、192店舗出店、26店舗退店した他、株式会社マルヤの新規連結による店舗数の増加等があった結果、4,601店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,082億69百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益119億76百万円(同30.1%減)、経常利益110億68百万円(同29.5%減)、四半期純利益は57億21百万円(同11.7%増)となりました。

報告セグメントについては、当社はフード事業以外の報告セグメントが無いため、記載を省略しております。なお、フード事業における主要カテゴリー毎の状況は以下の通りです。

(牛丼カテゴリー)

牛丼カテゴリーの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、136店舗出店、12店舗退店した結果、2,440店舗となりました。内訳は、株式会社ゼンショーのすき家1,888店舗、株式会社なか卯486店舗(F C 28店舗を含む)等でありませ

ず。株式会社ゼンショーが経営する牛丼チェーンの「すき家」では、新規出店および広告宣伝等によるブランド力の強化を行うとともに、グループのマーチャンダイジング力を活用し、既存の商品に加えて新商品やシーズナル商品を継続的に投入し、商品力強化を行ってまいりました。引き続きお客様に安全でおいしい商品を安心して召し上がっていただくために、品質管理の強化とサービス水準の向上に努めております。

当第3四半期におきましては、「すき家」ならではの牛丼のバリエーションとして「3種のきのこ牛丼」(2012年10月、並盛400円)、「高菜明太マヨ牛丼」「キムマヨ牛丼」「ねぎマヨ牛丼」(同12月、並盛390円)等を発売したほか、こだわり丼として「豚かばやき丼」(同10月、並盛630円)などバラエティ豊かな商品を発売いたしました。また、朝食の時間帯におきましては、「たまごかけごはん朝食」を導入するなど、「すき家」のご利用機会を広げました。

株式会社なか卯が経営する和風牛丼・京風うどんの「なか卯」につきましては、「目玉焼き朝食」(同9月、並盛200円)をはじめとする「なか卯の朝ごはん」等によるメニューの強化や季節限定商品の投入、既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化や店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛丼カテゴリーの当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,358億80百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、1店舗出店、9店舗退店、グループ内他業態への転換等を行った結果、1,559店舗となりました。

株式会社ココスジャパンが経営するスタンダードレストランの「ココス」につきましては、前期より取り組んでいる効果的な販促活動による売上高の確保や、労働生産性の改善等によるコストコントロールを継続的に行うとともに、店舗のサービス水準を向上させ、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ビッグボーイジャパンが経営するハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」等につきましては、サラダバー・スーパバーの充実を図ると共にセットメニューの提案等を行い、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社サンデーサンが経営する茹であげスパゲッティと手作りピッツアの「ジョリーパスタ」等につきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、パスタソースの改良や豊富な季節メニューの投入を行い、一層のおいしさを追求してまいりました。

株式会社華屋与兵衛が経営する和食レストランの「華屋与兵衛」につきましては、お客様の満足度の向上を図るため、安全・安心でおいしい商品の開発および店舗従業員の教育強化によるサービス水準の向上、労働生産性の改善等に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,103億77百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

（ファストフードカテゴリー）

ファストフードカテゴリーの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、55店舗出店、5店舗退店、グループ内他業態からの転換を行った結果、502店舗となりました。

以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第3四半期連結累計期間の売上高は、446億55百万円（前年同期比32.4%増）となりました。

（その他カテゴリー）

その他カテゴリーの当第3四半期連結累計期間の売上高は、173億56百万円（前年同期比12.0%減）となりました。主な内訳は、ピッツァ製造販売等の株式会社トロナジャパン、醤油製造販売の株式会社サンビシ並びに機能会社としてグループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、192店舗の新規出店に伴う設備投資及び直接貿易の推進に伴う棚卸資産の増加等により、227億11百万円増加いたしました。

負債につきましては、新規出店のための借入金の増加等により、168億51百万円増加いたしました。

純資産につきましては、当期純利益による利益剰余金の増加等により、58億60百万円増加いたしました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

2012年11月1日付で修正いたしました2013年3月期通期（2012年4月1日～2013年3月31日）の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間より、株式会社マルヤは株式の取得により、新たに連結子会社となりました。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,580	18,050
受取手形及び売掛金	4,774	5,179
商品及び製品	7,179	9,915
仕掛品	358	535
原材料及び貯蔵品	2,488	3,251
その他	10,935	12,551
貸倒引当金	△0	△7
流動資産合計	44,317	49,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,312	158,382
減価償却累計額	△67,329	△80,418
建物及び構築物（純額）	73,982	77,963
機械装置及び運搬具	11,644	11,865
減価償却累計額	△6,049	△5,682
機械装置及び運搬具（純額）	5,594	6,182
その他	58,185	71,988
減価償却累計額	△26,102	△32,243
その他（純額）	32,083	39,745
有形固定資産合計	111,660	123,891
無形固定資産		
のれん	13,052	12,546
その他	5,260	5,358
無形固定資産合計	18,312	17,904
投資その他の資産		
投資有価証券	4,069	4,881
差入保証金	30,560	32,781
その他	26,907	29,595
貸倒引当金	△4	△25
投資その他の資産合計	61,532	67,233
固定資産合計	191,506	209,029
繰延資産	157	186
資産合計	235,981	258,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,067	13,307
短期借入金	5,397	7,645
1年内償還予定の社債	3,190	5,390
1年内返済予定の長期借入金	44,321	39,564
未払法人税等	6,366	1,271
引当金	1,463	717
その他	22,458	33,623
流動負債合計	94,264	101,521
固定負債		
社債	11,375	18,780
長期借入金	69,131	69,528
引当金	358	570
資産除去債務	1,267	1,588
その他	10,517	11,776
固定負債合計	92,649	102,244
負債合計	186,914	203,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,089	10,089
資本剰余金	10,642	10,642
利益剰余金	22,691	26,475
自己株式	△20	△20
株主資本合計	43,403	47,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,144	△1,263
繰延ヘッジ損益	△579	△86
為替換算調整勘定	△3,348	△3,264
その他の包括利益累計額合計	△5,071	△4,615
少数株主持分	10,734	12,354
純資産合計	49,066	54,926
負債純資産合計	235,981	258,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
売上高	297,116	308,269
売上原価	104,203	112,164
売上総利益	192,912	196,104
販売費及び一般管理費	175,771	184,128
営業利益	17,140	11,976
営業外収益		
受取利息	213	268
受取配当金	205	89
受取賃貸料	478	262
その他	224	614
営業外収益合計	1,121	1,234
営業外費用		
支払利息	1,816	1,543
賃貸費用	426	249
その他	312	349
営業外費用合計	2,556	2,141
経常利益	15,706	11,068
特別利益		
固定資産売却益	2	0
負ののれん発生益	—	1,220
関係会社株式売却益	1,196	—
その他	31	23
特別利益合計	1,230	1,245
特別損失		
固定資産除却損	485	387
減損損失	94	179
その他	531	232
特別損失合計	1,111	799
税金等調整前四半期純利益	15,825	11,514
法人税、住民税及び事業税	7,691	4,487
過年度法人税等	1,974	—
法人税等調整額	257	571
法人税等合計	9,924	5,058
少数株主損益調整前四半期純利益	5,901	6,455
少数株主利益	778	734
四半期純利益	5,122	5,721

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,901	6,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△117
繰延ヘッジ損益	381	492
為替換算調整勘定	△666	83
その他の包括利益合計	△280	457
四半期包括利益	5,620	6,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,837	6,179
少数株主に係る四半期包括利益	783	734

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自2011年4月1日 至2011年12月31日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自2012年4月1日 至2012年12月31日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。